

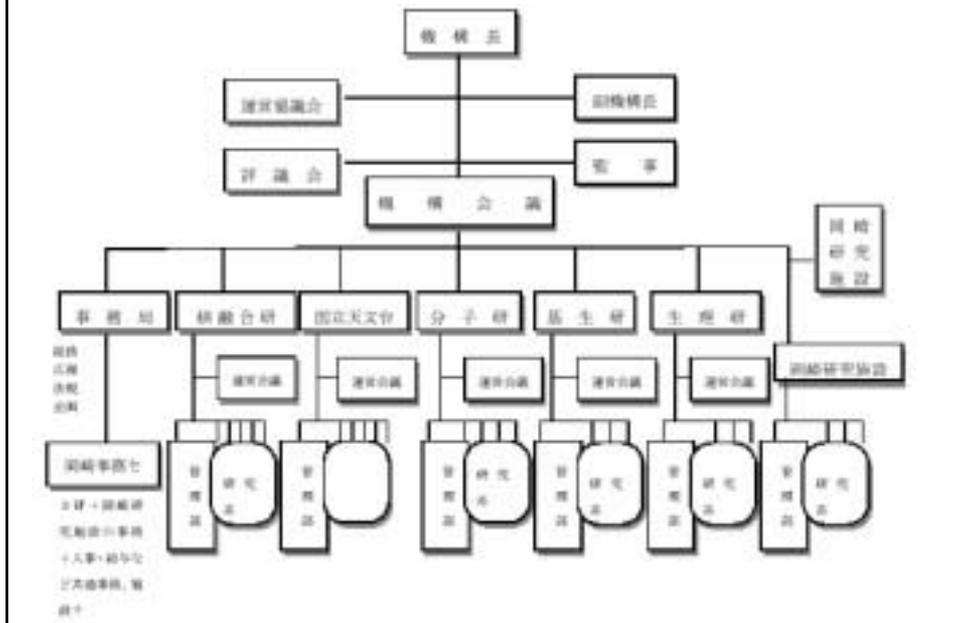
国立天文台法人化について (プロジェクト室制)

高見英樹 (国立天文台)

国立天文台の目標設定

- (1) COEとして天文学及びその周辺分野の研究を推進
- (2) 共同利用の推進
- (3) 人材の育成

自然科学機構の組織図(案)



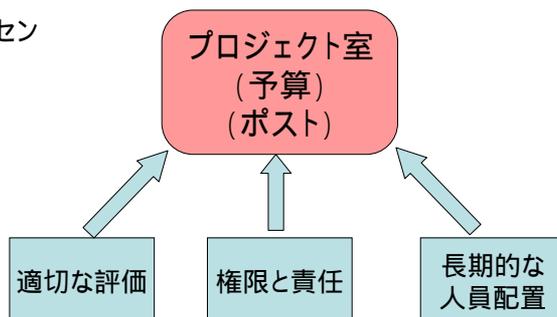
天文台新組織の目的

- (1) 全台的運営機能の強化
- (2) プロジェクト推進体制の強化
- (3) 個人による自由な研究や萌芽的研究の推進
- (4) 適切な評価 プロジェクト、個人

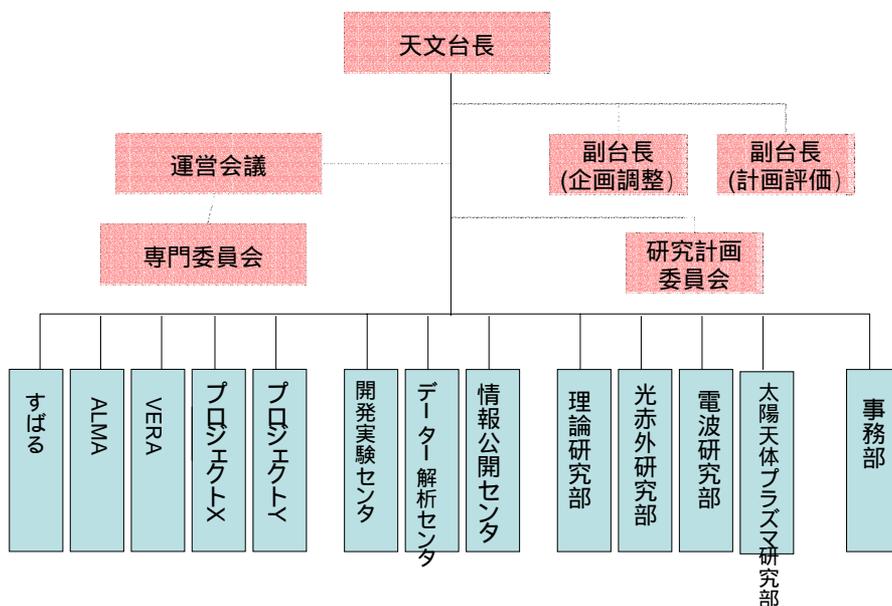
プロジェクト室制の採用

ハワイ観測所、VERA、ALMA、Solar-Bなどはプロジェクト室

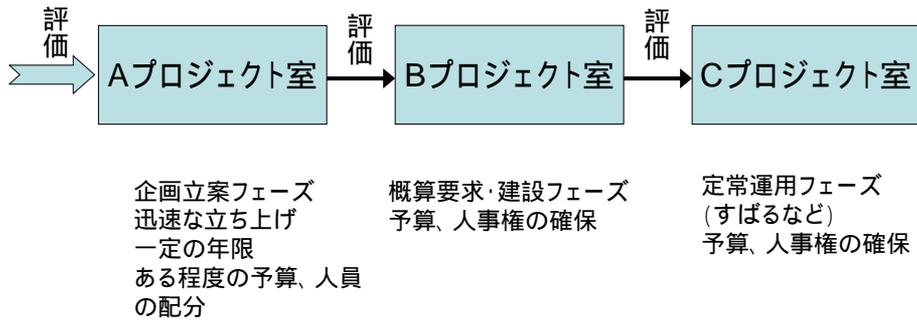
開発実験センター、計算機センターなども扱いは同様



国立天文台新組織図案(一部)



プロジェクト室制の概要



専門委員会

- 将来計画など全般的なことを担当する「専門委員会」
 - 光赤外専門委員会
 - 電波専門委員会
 - 太陽天体プラズマ専門委員会
- プロジェクトの推進、観測所の運営などを担当する「推進委員会」、「運営委員会」
 - 少数メンバー

専門委員会の例(一部)

プロジェクト 室種類	プロジェクト室の 例(仮称)	推進・運営委員会 (仮称)	専門委員会
A A	光赤外線干渉計 (MIRA) JASMINE		光赤外専門委員会
C	すばる	すばる運営委員会	
C	岡山天体物理観測所	岡山観測所運営委員会	
C B	野辺山観測所 ALMA	野辺山観測所運営委員会 ALMA推進委員会	電波専門委員会
B / C B / C C	VLBI(VERA, VSOP2) RISE 水沢観測センター	VERA運営委員会 RISE推進委員会 水沢センター運営委員会	
C B	太陽物理 Solar-B 電波ヘリオグラフ		
			太陽天体プラズマ専門委員会

マイルストーン

- 2003/7月 組織WG案
- 2003/9月 天文台長提案 教授会議
- 2003/9、11月 運営協議会
- 2003/12月 評議会

課題

➤ 大学のかかわり方

大学からの提案で、天文台内にプロジェクト室ができるか(責任体制)

➤ 光赤外専門委員会の役割